

会 議 録

1 会 議 名	令和6年度第1回太宰府市環境審議会
2 開 催 日 時	令和6年11月8日（金）10:00～11:35
3 開 催 場 所	太宰府市役所 3階庁議室
4 出 席 者 名	浅野委員（会長）、安恒委員、角委員、田口委員、田中委員、川原委員、宮原委員、石橋委員、岩熊委員
5 欠 席 者 名	井上委員（副会長）
5 オブザーバー	杉山総務部理事、柴田都市整備部長、中山教育部長、友添観光経済部長
6 事務局	佐藤市民生活部長、大石環境課長、徳重環境保全係長、松田ごみ減量推進係長、山口主任主事
7 議 題	<p>【議事】</p> <p>(1) 第四次太宰府市環境基本計画令和5年度実施報告について</p> <p>【その他】</p> <p>(1) 太宰府市環境審議会規則の改正について</p>
8 内 容	
事務局	<p>【議事(1)】 第四次太宰府市環境基本計画令和5年度実施報告について</p> <p>※事務局より概要説明</p>
委員	12ページの2の(5)のシカ62頭捕獲とありますが、これはどこで捕獲されたのでしょうか。
観光経済部長	シカは主に宝満山内山地区を中心としたところです。

委員	もうこれだけの数捕獲がされているのですね。
観光経済部長	はいその通りです。従来イノシシは箱わなという罠を使って資格を持った方に活動いただいています、シカについては現在箱わなでは捕獲ができないため、くくり罠を活用されまして捕獲をしている状況です。
委員	くくり罠に関して、この辺に罠をかけてるといふ報告とかは市に来ますか。
観光経済部長	はい。事前に地図にマークして、報告をいただくという体制をとっています。
委員	以前市民の森で子どもたちが来るような場所にくくり罠があったことがありました。市民の方が通るようなところにかけてある場合、多分看板等をかける必要があると思いますが、その辺が欠けていたのかなと思います。これだけイノシシもシカも出てきている状況で、くくり罠に人がかからないような対策も把握しておいていただけたらと思います。
会長	これはご要望ということによろしいですか。
委員	はい。
会長	他にございませんか。
委員	9 ページの 2 の (11) PCB についてですが、令和 5 年度は該当する施設はなく、行っていないとあるんですけども、市としては PCB の存在を確認しているものについては全て処理が終わったと理解してよろしいでしょうか。
事務局	我々としてはそのように考えています。
会長	高濃度のものについては、北九州での処理はもう終わってますので今頃出てくると困りますが、低濃度の PCB についても、今、委員のご質問にあったように処理終わってると理解していいでしょうか。
都市整備部長	あくまで把握しているものについてはということになります。 過去に建築物の照明関係で後から PCB が使用されていることが判明したという事例がありましたので、また今後そのようなことがあるかもしれないという状況です。
会長	特に使用中の低濃度 PCB 含有の機器については、現在のところは、法律上は、廃棄を強制する手立てがないのです。PCB の入っているものは電気事業法でも使用をしないようになっているはずなのに、全くその後の対策が進んでないですね。太宰府市はあんまり大きな事業所がないので、大丈夫だと思いますが、使用中のものがまだ残ってる可能

	<p>性があります。これは処理期限が過ぎてしまうと、もう今の拠点で処理ができなくなります。処理期限後に見つかったものについてどうするかを今国で議論をしていますが、既存の低濃度処理をしてる業者をお願いすることになると思いますが、費用が高くなる可能性があるのも今のうちにもう一回よく確認をしていただければと思います。他にご意見ありますか。</p>
委員	<p>10 ページの 1 (4) 生物多様性への配慮のところですが、工事の際にアオイゴケが確認されたため移植を行ったとあります。移植しても定着するのは大変だと思いますが、その後の生育状況はどうでしょうか。</p>
事務局	<p>近辺の環境が似たところに業者の方で移植されたという状況です。筑紫野古賀線の工事が出てきたもので、上下水道施設課が入っている松川の上下水道事業センターのところに移植をしたとは聞いていますが、今の状況は明確には分かりません。</p>
会長	<p>委員の心配される通り、移植はなかなかうまくいかないのも移植をした後のフォローアップが大事です。ぜひ担当課にその後どうなったかよく見てほしいと思います。移植場所は既にアオイゴケがあるような場所を探して、そこに移植していると思いますが、何も無いところだと本当にうまくいかないです。</p>
事務局	<p>条件を見たらうで場所を決められたと聞いています。</p>
会長	<p>アセスが関係している場合は、事後調査を義務付けて事後調査報告書まで出してもらいそれを公表する手続きまで取りますが、アセスではないものであっても、同じような配慮が必要ですので、もう一度よく確認をお願いします。</p>
事務局	<p>はい。確認を行います。</p>
会長	<p>大事な指摘をいただいたと思います。</p>
委員	<p>移植場所は市の公共用地と書いてありますが、職員が常駐してるような場所でしょうか。</p>
事務局	<p>敷地内には職員はいるのですが、すぐ見えるところに職員がいるというわけではないです。</p>
委員	<p>1 日 1 回くらいは様子を見に行ってください、変化があれば専門のところに連絡をして、何か対応を考えていただければと思います。</p>
事務局	<p>確認いたします。</p>

会長	<p>よろしくお願ひします。 他にございませぬか。</p>
委員	<p>今年 35 度超えが日本一になつたという話がずっと話題になつていましたが、日本一になるくらいまではテレビに取り上げられて参道も人が増えたりしましたが、暑さが続くと逆に外国のツアー客以外の日本人はほとんど来なくなり、非常に売り上げが落ちたと商工会から報告を受けています。特に焼き餅は暑い中ではあまり食べないので非常に困っています。熱中症対策や温暖化対策みたいなのがこの中にあるといひなと思ひます。私も以前から関わっている打ち水がこの報告書の中では令和 5 年無しになつていますが、今年のごじょう保育所の前で環境課が園児たちの熱中症対策を考えながらやつていただいたのですが、せつかく日本一になつて話題になつていたので何かもっと具体的に来年度の夏に向けて、市が率先してこういう対策をしますみたいない打ち出し方ができないでしょうか。</p> <p>各家庭で打ち水をして温度を下げましようという運動とか、学校で夏休みの宿題としてラジオ体操ではないですが、何回か庭に水を撒いてみましようとか、そのような PR の方法がないのかなと思ひましたが、どうでしょうか。</p>
会長	<p>これも大事なご指摘ですな。</p>
観光経済部長	<p>確かに今年の夏はそのような事象がございまして、現在来年度の予算編成中中ございまして。暑さを逆手にとつたイベントあるいは集客に向けての事業、熱中症とか暑さへの対処をどういふふうにしたらいいかというところは現在編成に向けて検討中中ございまして。また、3 月議会等の中中対策等が明らかになつてくるかと思ひます。</p>
総務部理事	<p>補足です。危機管理の目線と経済活動をどう下支えするかというところを両輪で考えながらではあります、今年度は特別警戒アラートが新たに運用開始されたという年でもありましたので、本市では一足早く市内 17 ヶ所をクーリングシェルの指定を行いました。結果的には特別警戒は出ずにそのような状況にはなりませんでしたが、涼みどころとして活用していただくということで、訪れる方も心配なときには安心して休んでいただくというようない環境を整えるという入口を今年に対処したところ中ございまして。</p> <p>今観光経済部長も申し上げたように、来年は政策の展開を少し飛躍させて PR になるようない展開をできたらと思ひております。</p>
会長	<p>クーリングシェルを既に 17 ヶ所指定しておられる。こういうところですよという PR をもっと徹底的に行われているといいかもしれませぬ。例えば太宰府駅出たところに分かるわかるように表示をするとか。</p> <p>それからもう一つ気になつてるのは一体どこで測つてるのか。測つてるのは参道じゃないですね。いかにも参道がああ温度みたいに思われてしまひますが、測つてる場所が結構温度が上がりそうない場所で測つていて、おかげで日本一になるのありがたくは</p>

	<p>ありますが、市民が住んでるところ全部がああ温度かというところでもないと思います。聞いたところでは、確かに温度が上がりそうだなという場所で測っておられるので、その辺どうなんでしょうか。</p>
<p>総務部理事</p>	<p>気象台で設置されてる場所が県内に複数ありますが、太宰府市も1ヶ所ございまして、では隣の市にあるかということそのサンプリングは公表される地点にはなっていないということもありますので、太宰府だけがこのような状況かということも含めて考えなければいけない部分もあります。ただ同じ場所を昨年も測って比較している中で高温傾向であったということは間違いないことですから、その場所が適切かということもあります。やはり比較して温暖化の傾向があるという意味もありますので、我々がどのように対応していくか、PRしていくかが大事だと考えているところです。</p>
<p>会長</p>	<p>関東に暑さで過去連続1位になってる内陸部の都市がありますね。先進地としてそのようなところに連絡を取って情報交換してはどうでしょうか。</p>
<p>理事</p>	<p>暑さを売りにして、まちづくりに生かされているところもありますね。</p>
<p>委員</p>	<p>今私が住んでるところは大佐野で、気象庁の温度計あるところです。温度計が設置されているのは道路のそばで、一番熱いところです。実際は、少し大佐野地区に降りてくると2度ぐらい違います。一番暑そうなところで測っているの、そういう温度が出てくる可能性があると思いますね。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。他にいかかがでしょう。</p>
<p>委員</p>	<p>成果指標の資料でお伺いしたいと思います。2ページのリサイクル率等に関して、私は管内の市の審議会委員をいくつかしていますが、どこもリサイクル率が伸び悩む。無尽蔵で上がるわけではないと思いますが、その要因がいくつかあって、例えば新聞とらない人が増えているとか、民間の古紙回収業者が入ってきていて行政が把握できないところでのリサイクルが行われているというのを伺っております。</p> <p>一方でリサイクルを担っている大きなところとして子ども会の集団回収があるかと思いますが、他の地域では子ども会等の活動が停滞気味のところが多く、集団回収のような取り組みが少なくなっているという話を結構聞きましたが、太宰府市の件数を拝見しますと、120弱ぐらいで推移しているようです。今子ども会の状況とか集団回収の状況とか、実際現場で申請を受けられる側の肌感覚としてはいかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>実際子ども会や自治会の回収量は年々減ってきています。先ほどおっしゃったように、新聞の量は著しく減っており、市ではリサイクル資源として見てる新聞、雑誌、ダンボール、古布について集計していますが、新聞が一番減少傾向にあり、その他3つについてはほぼ横ばい状態です。これは各家庭で新聞をとらなくなったことが背景にあると推測しています。件数的な伸びは、例年ほぼ同じ団体が実施しておりまして団体数</p>

	<p>でいきますと、現在 111 ぐらいの団体が資源回収に関わっておられます。新規の入れ替わりは多少あっておりますが、ほぼ同じような団体が実施しております。取り扱い量は少しずつ減っている現状です。</p>
会長	<p>新聞販売店が回収しておられるのは把握できていますか。</p>
事務局	<p>そこは把握できていません。</p>
会長	<p>新聞販売店の回収がかなり徹底して行うようになってきているので、その分集団回収に流れなくなってきています。</p>
委員	<p>販売店の回収は太宰府でもやっていますか。</p>
会長	<p>福岡ではやっていますが、太宰府はどうでしょうか。</p>
委員	<p>私は読売ですが、あります。</p>
会長	<p>やっていると思うので販売店の情報をしっかり把握して、その数字を全部この中に入れると、数字が少しは回復するのではないかと思います。お願いすれば情報をくれるのではないのでしょうか。</p> <p>ありがとうございました、他にございませんか。</p>
委員	<p>報告書に観世音寺の鐘が無いというのが書いてありました。それはまた戻ってくるのでしょうか。ずっと無いということなんのでしょうか。</p>
教育部長	<p>今は九州国立博物館で展示されております。行かれた方はご存知だと思いますが、定期的に鐘の音になるような形で一つの仕組みを作られております。それがいつこちらに戻ってくるかは把握していません。</p>
事務局	<p>梵鐘をかけるものが壊れてるので、梵鐘自体はありますが、修理する目途が立っていないと聞いています。</p>
観光経済部長	<p>今職員が申し上げたように、土台そのものが朽ちている状況で、観世音寺が募金活動をされたりと、今頑張っていらっしゃる状況でございます。鐘そのものもかなり前のものでありますし、重要な文化財に指定されてるということもありますので、今後一案としてレプリカを置くかということも検討されているように伺っております。直接文化財を叩いていいのかということもありますので、今修繕いただいている九州国立博物館や専門家の方たちが今後どうしていくかを検討していると伺っております。</p>
会長	<p>音百選に選ばれてるのでちょっと困りますね。</p>

委員	午後 5 時に子どもたちが帰るとき太宰府は観世音寺の国宝の鐘になるといいよねという話をしている、それがどうなのかなと、なければしょうがないのかなと思ったりしました。
会長	CD が出てるので、CD の音を使うってこともあるでしょうから。 他にございませんか。 プラスチックの回収については検討と書いてあります。そんなのにのんびりしたこといいのかなと、どういう状況でしょうか。
事務局	今いろいろな情報収集をしてるところですが、中間処理施設の課題もごございますので、今筑紫地区の関係課が集まって協議をさせていただいています。
会長	急いでいただかないと、北九州市はもう本格的に動いていて、法律が動き始めているし、早く手をあげないと実際にはやろうと思うときに受け皿がなくなってしまうので。もう既にちゃんと県内でも動いてるところは動いているというのをしっかり認識しないといけないと思います。 他にございませんか。
委員	この調査とは別ですが、7 月に強い台風が来ました。私は四王寺やあの辺をよく動くのですが、かなり大きな風倒木がそのまま放置されているんです。直接道路とかに影響がないからだと思いますが、小さい小枝ではなくて、かなり大きいものが倒れたまになっている。いかがされるのかお聞きしたいです。
会長	これはどこが担当になりますが、都市整備でしょうか。
都市整備部長	あくまでも都市整備ですので林道沿いということになりますと、やはり林道沿いにはかなり枯れが進んだ樹木がありまして、直近では桜の木で危険な状態のものについては、緊急で伐採して運び出したというのはございます。 それ以外にも、もともとある樹木は倒れることもあって、できるだけ沿線沿いのものについて排除できるものはしておりますが、四王寺山自体が林道沿いだけであれば史跡地が大部分で、民有地も残っているという状況です。今、県の方がワンヘルスの森という形で整備の検討を進めてあるようですので、その中でどこまで樹木の整備等予算が確保できるのかということはこちらも情報収集しながらやっていく必要があると認識しております。
会長	はい。他にございますか。
委員	成果指標で未調査というのが結構あります。毎回は無くても構わないとは思いますが、第三次計画策定時と目標値だけになってるので、今後も未調査であれば困るんじゃないかなと思います。

会長	そうですね。未調査が目立つけどこれはどうかということです。
事務局	ご指摘の通り未調査になっている項目が複数あります。これは市が実施している市民意識調査がありますので、その調査に入れてほしいと毎年お願いをしているところですが、調査項目の量が多くなりすぎるため難しく例年できなかったものです。 しかしながら未調査というわけにはいきませんので、来年度予算を取って独自に環境課でアンケートをできないかと計画している状況です。
会長	おそらくこの類のものを、サンプル調査でやったからといって、きちんとしたデータが集まると思えないんですね。むしろ地域の自治会みたいなどころに協力をしていただいて、それぞれの項目ごとにどんな状況かというのを区長さんに調べてもらって、報告をもらうとか、それとアンケート調査と組み合わせてみるとか、いきなりサンプル調査をやっても分からないと思うけどどうでしょうか。
事務局	市民意識調査というものがありますので、それに入れてもらうと流れ的にもよかったですのですが、先ほど会長がおっしゃった通りの別の方向でという方法もあるかと思いません。
会長	ただ計画策定時 63%っていう数字がちょっと高すぎますので、目標は 70%ですから。
事務局	策定時もサンプル調査でやっておりますので。
会長	これもサンプル調査ですか。
事務局	はい。来年度は中間あたりになるので、調査をさせていただきたいと思っております。
会長	分かりました。他にございませんか。
委員	21 ページ環境イベントなど学習機会の提供、移動自然博物館や副読本の提供ということで、環境フェスタはやってらっしゃるのですか。
事務局	環境フェスタについては、令和元年度を最後に実施できておりません。その当時参加団体の皆さんがお話し合いをされた中で、これまでイベント形式でずっと続けてきたが、やり方や啓発の仕方、我々の体制での実施に少し限界が来ているため、一旦ゼロベースで見直しをしましょうということになったようです。 その後コロナ禍に入りまして、検討が進んでいないというのが正直なところです。昨年、コロナも 5 類に移行になりましたので我々としても新しい生活様式の中でどういった啓発ができるかを今模索しているところです。 先ほど委員が言われた打ち水も今年新たにこちらが出張するという形で保育所に出向いて実施し、それをホームページで皆さんにお知らせするというようなやり方をさせ

	<p>ていただいたところです。これも非常に猛暑日が続き、難しかった面もございますので、今後団体の皆様のご意見を聞きながらどのようなやり方がいいのか検討させていただきたいと思っております。</p>
委員	<p>当初観世のキャンプ場のときから、横にいらっしゃる 2 団体さんも関わってこられたと思いますが、太宰府では今までなかったようなイベントでしたし、せっかくワンヘルスの森にもなったので原点回帰で市民の森でやれたら市民の皆さんも環境のことに目が行くんじゃないかなと思っております。何かいい案があればしていただけると嬉しいなと思っております。</p>
会長	<p>ぜひ検討してみてください。温暖化のセンターもあるので協力がもらえるかもしれません。また、市の中にそのようなフェスティバル的なものが他にもあるならそういうものと一緒にやるというのもいいと思っておりますね。</p>
委員	<p>政庁まつりと一緒にやるといいかなと思っております。</p>
会長	<p>あまりバラバラにやってもしょうがないので、何か一つのお祭りのときにそれを全部集中するのはどうでしょうか。バラバラに開催されると参加する方も大変だと思うので、特に政庁まつりみたいなものがあればそれとセットにするっていうのは一つのいい方法かもしれません。ぜひ検討してみてください。</p> <p>他にございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは環境計画の進捗状況についてのご指摘は以上といたします。</p> <p>続いて、災害廃棄物処理計画の素案について、これは今後これに基づいて実際には実施計画を作っていくことになると思いますが、実施計画を作るときの手順のような素案になっています。</p> <p>私も最初見たときにマニュアルをそのまま写しているようなところがあり、少し手直しをしてもらっています。これ自体が処理計画本体であり、これによって具体的な処理活動が行われるというのではなく、実際にはこの計画に基づいて実施計画が作られるということをよく分かってもらう必要があります。例えば、実際にその災害の程度によってどのくらい必要になるかは違いますので、廃棄物処理の粗大ゴミをどこに集めるかみたいな話をいきなりこの計画の中に地名まで入れて書くことは非常に難しいです。だから機械的にここでやるんだと書いてしまうと嫌だという意見が出てきて全然收拾つかなくなってしまうこともありますから、具体的なことはあまり書いてないですね。性質上それは仕方がないと思っております。しかしこういう計画に基づいて実施計画が作られていくということを市民の方にわかっていただくという必要がありますので、この素案についてお気づきの点がありましたらコメントいただければと思います。</p>
委員	<p>実際の災害が起こった後でないと量がどれくらいになるかは全く想定できませんから、難しい部分もあるかと思っておりますが、仮置き場を作る形になると思っております。その際に、</p>

	<p>一方通行的なものができるような形にできれば作業効率や、渋滞緩和に非常に効果があるのではないかと思います。この処理計画の中にも仮置き場について、一方通行ができるような場所をできるだけ選んで、一方通行で搬入と搬出ができるように検討するという一言を入れておかないと、いざ実行計画を策定する時に困ることになるだろうと思うので、工夫ができないのかなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今のは大事なことだろうと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。計画の中に盛り込めればと思います。</p>
会長	<p>既にかかれてると思いますが、仮置き場でも分別をしっかりやるのが後始末を楽にするということは、東日本大震災の経験で散々言われていることですから、それは大丈夫ですよ。</p>
事務局	<p>そうですね。こちらの計画基本計画については会長が言われたように、実施計画を作るための手順をお示しさせていただいておりますので細かい内容については、実際の発災後にいろいろな状況を勘案しながら作っていくことになると思っています。</p>
委員	<p>民間事業者との協力という中で環境衛生業務等業界団体と協定を結んでらっしゃるということですが、昨今県の産業資源循環協会と協定を結ばれている自治体も多くございます。私も前の職場が災害廃棄物を担当しているところにいましたが、ここ何年か大雨特別警報が出て県南の方で災害が起きた時に、協定を結ばれている自治体に循環協会の会員が手慣れた感じで仮置場の現場に入られていました。例えば公園等の仮置場の場所を選定されるのは市だと思いますが、公園等にそのまま車が入るとぐちゃぐちゃになりますので、発災から2日後ぐらいには重機で鉄板を持って来て敷いて、そこにコンテナを置いて、ここが不燃ごみですよ、家電はここに置いてくださいということをしていました。協定を協会と直接結んでいるところもあれば、昨年私は仮置場を久留米市田主丸町とうきは市と広川町と拝見しに行ったんですが、広川町は協会ではなく、その地区の廃棄物処理業者で事業協同組合を作られていて、その組合と協定を結ばれていました。県との協定の中での対応になると市から県の廃棄物対策課に要望があつて、そこから循環協会の本部、そして各支部に連絡がいくので、そこだけで時間がかかるとは思います。うきは市は協定を結ばれた直後に災害が起きて、直にやり取りをされて即藤波ダムのところに仮置き場ができたということもありましたので、結ぶ相手がここじゃないといけないっていうのはないと思いますが、仮置き場の設置またはその後の運搬の類のところについてはそういう民間事業者の団体と直接協定を結ばれるといいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。 書いておいたら忘れなくていいかもしれませんから、大事なご指摘をいただいたと思います。</p>

事務局	はい、民間事業者の協力が必要不可欠だと考えておりますので、協定も含めて検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。
委員	私は地元の建設業界の人間なので、こういう計画を作るときに、保有会やその他の四王寺会、商工会の事業者代表に意見交換をした上でこの計画をまとめるような予定はありますか。それとも市でまとめたものをみんなに知ってもらうのでしょうか。
事務局	この計画には現状をお書きするんですけども、民間の協力が必要ですから協定等も考えますという書き方をさせていただきますが、当然今後そういった協力が得られれば随時更新していくという考え方でございます。初期段階からヒアリングをして意見交換したのではなく。
会長	<p>むしろそうした方がいいというご意見だろうと思いますので、パブコメをする時に一般的にやるのではなくて、そういうところには出かけて行ってそこで話し合いをするというのが最も望ましいということだと思います。一般的に市民に意見を出していただきというのはもちろんあっていいと思いますが、今のようにはっきり分かっている団体にはしっかり送って、そこに行ってご意見を聞かせていただく、もしくは団体の各社に流してもらって、そこからコメントをもらったものをまとめてもらうとか、そういう工夫をした方がより合理的だというのが今の委員の意見だと思いますので、ぜひそのようにしてください。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>実際に災害が起こった時は大変ですし、短い時間に体制を作らないといけませんから、このような基本的な計画がしっかりできていれば、それがうまくいくだろうと思います。どの程度のものが起こったときにはどのように動く必要があるかというシミュレーションをいくつかのパターンで作成し、最初からもうパソコンに入力しておけば、いざというときにはそれを出して使えばいいということがありますので、これをやったらもうこれで終わりじゃないのでその先があるんだということです。事務局としてはどこまで覚悟と腹づもりができていますか。</p>
事務局	まずはどれぐらいの災害があったらどうするかという基準的なものを作らせていただいて、会長が言われるように実際に災害が起こったときに動けるようには備える必要があると考えておりますので、次の段階だとは思いますが、そこはしっかり検討していきたいと考えております。
会長	<p>よろしく願います。他にお気づきの点ございますか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>これはパブコメもやりますので、時間的には今日明日という話ではありませんが、できれば1週間ぐらいの間に何かいただければ、市民の皆さんに見ていただく前に、もう少し直せるかもしれませんのでよろしく願います。</p>

委員	環境基本計画と災害廃棄物処理計画の細かい言葉の修正については個別に事務局に伝えます。
会長	よろしくお願ひします。 それではもう一つのその他の報告がございますので、事務局お願ひいたします。
	【その他(1)】太宰府市環境審議会規則の改正について
事務局	太宰府市環境審議会規則の改正について、1点ご報告がございます。 現行の太宰府市環境審議会規則第3条の規定におきまして審議会は、10人の委員をもって組織すると定められています。現在、委員の皆様は10名在籍いただいておりますので問題ありませんが、今後、何らかの理由により欠員が出た場合においても審議会を開催できるよう、人数に以内の文言を追加するよう規則の一部改正を行うものです。委員の皆様におかれましては、ご理解いただきますようお願い申し上げます。
会長	この点について何か特にご意見がございますか。よろしいでしょうか。 それでは現行規定は10人と数字が固定してあるものを、以内というふうに手直しをして、もし欠員が出たときでも、審議会としては問題がないようにしたいという事務局の提案についてはご了承いただいたということにいたします。ありがとうございました。 それでは他にこの際年に1回ぐらいしか審議会ありませんので、この機会に発言をしておきたいということがありましたらお願ひします。
委員	先ほど言いそびれたんですけれども、自宅が朱雀にありまして、近くに菅原神社、般若寺があるんですけれども先日菅原神社の方は木の伐採と草刈りをきちんとしてあったんですけれども、般若寺跡の方はいつも草刈りがなされていなくて見学ができない状態だったので、どのくらいの頻度で草刈りなどされてるのでしょうか。
観光経済部長	所管ではないんですけども、我々は公共の敷地であれば定期的に維持管理をやっておりまして、草刈り等を実施していますが、例えば神社については市が所有しているわけではなく、それぞれの所有の方がそれぞれ維持管理をいただくというのがベースになっております。今回は般若寺跡ということで、底地が市になっているかは、調べないと分からないのですが、自治会から要請があって文化財の方で少し草刈りを行っているというのがあったように記憶をしております。定期的にやってるかというのは資料が無いので具体的に申し上げられないのですが、そのような要請があるというのは現場の方に伝えて確認をしていくというような形で対応していこうと思います。
会長	よろしいでしょうか。
委員	よろしくお願ひします。

会長	他に何かございますか。
委員	今年 1 年私は健康のために太宰府市内をずっと歩いて回っています。そこで去年より今年の方が綺麗になっています。市役所の方たちのおかげだというふうに思っております。去年は少し荒れたところがいろいろあったんですけども、今年は非常に綺麗になっています。その辺は非常に改善されたんだと思いますので、ありがとうございます。
会長	ありがとうございます。お褒めの言葉をいただきました。他にございませんでしょうか。 それでは特にご発言がないようでしたら、本日の審議会は以上ということにさせていただきます。